日本建設機械化協会
J. C. M. A.

建設の機械化

1976年1月号　No. 311

目　次

□巻頭言　災害に思う……最上武雄／1
□座談会　建設機械の今後のあり方……／3
昭和50年度建設機械展示会見聞記……千田昌平／14

グラビヤ——昭和50年度建設機械展示会

建設機械と施工法シンポジウム開催さる……本田宜史／19
□随想　藻岩山……藤原武／22
□新しい建設技術……／25
安定処理工法の施工機械とその実施例……高野漠仁／瓶義夫／26
超軟弱地盤の化学的処理工法……中村正邦／田原一之／30
—コンソリダーシステム—
高砂西港ヘドロ処理工法の概要……黒川岩之／村博建夫／34
大型ヘドロ浚渫船の現状……望月光／38
泥水シールドの開発の経過……松島寛／42
モノレールトレイン工法の開発と実施……熊谷憲一／46
トンネル掘進中における風道換気法の適用化…原田実／肥塚嘉剛／49
特殊せん孔機による捨石層へのせん孔……青木徳全／54
超高圧ジェットを利用した工事例……清水昭男／石崎英夫／57
PC 橋梁の新しい架設工法……只野直典／64
新しい建築技術スウェトー工法……長浜忠／柿沼秀行／68
新しいスリップフォーム工法……本田忠義／71
—シミズフレクスリップシステム—
建設工事公害対策の実施例……内田保之／75
日本建設機械化協会理事会の開催……／80
□統　計
建設工事費デフレータ，建設工事施工，機械生産……調査部会／81
ニュース……(編集部)／82
行事一覧……／83
編集後記……(田中・三浦・中尾)／84

◀表紙写真説明▶

高速大型ロータリ除雪車

HTR-301 C 型

株式会社　日本除雪機製作所

わが国の積雪地域は国土面積の 53% を占めている。本機はどんな雪質にも適合するリボンスクリュー型オーガを有し，雪量と除雪速度のマッチングは油圧走行制御により最良の状態で作業でき，ワンエンジン 410 PS の高出力で作業時は平均約 10 km/hr で 3,000 t/hr の雪を処理し，回送時は 40 km/hr の走行で十分な機動性を発揮できるもので，多雪地帯道路の高速大型ロータリ除雪車として道路交通確保に活躍している。